



ハイリスク・ハイリターンの意味 | 金融：経済の英単語



「ハイリスク・ハイリターン」のリスク (risk) は「危険」の意味ですが、保険の世界では「危険率、保険金額、被保険者」などの意味でも使われます。形容詞のリスクー (risky) は日本語化して、よく普通の会話で使われています。

元はイタリア語の

"rischio"、さらにはギリシャ語にその語源を遡り、ギリシャ語では「断崖」を意味したようです。スペイン語の辞書を見ると "risco" (切り立った岩山) という単語が残っています。

「ハイリターン」の return (戻る) は、turn (回す) に接頭辞 re- がついたもので、もとはギリシャ語 "tornos" (円を描く道具) でした。いずれにしても「回る」イメージです。turn は大変意味の範囲の広い重要な動詞ですが、「ターンする」のように名詞としても日本語になっています。「ターニングポイント (turning point)」も「転換期」の意味で日本語化しています。

ビジネスの世界では基本用語の

turnover (ターンオーバー) は、「売上高」「総取引高」「売上回転率」の意味です。この turn と姉妹関係にある語が、

tour (ツアー、小旅行) です。「ひと巡り」から「周遊旅行」の意味に転化したもので「中南米を一回りしてくるんだ」という表現に、その類似した発想をみることができます。「馬上試合」を意味した「トーナメント (tournament)」も、ここから派生した言葉です。

接頭辞 ad-

がついて出来た用語に、attorney (弁護士) があります。lawyer (ロイヤー) とどう違うのかと思われるかもしれませんが、attorney は中立的な含みを持つイギリス英語であるのに対し、attorney はそれより好ましい意味合いが含まれる米国英語とされています。なぜ弁護士の意味になったかという、困ったときには「他人にまわす」という発想からきているようです。

否定的接頭辞 de-

がつくと「離れて向きを変える」ということから、detour (迂回) という語が、con- がつくと「共に回る」ということから contour (輪郭、外形) という語が派生しました。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部